



2023年度
札幌わかかさ幼稚園 外部評価シート

札幌わかかさ幼稚園 園内評価
2024年3月26日(木)
10:00~11:40

<わかくさの教育目標>

- ・失敗を恐れずものごとに取り組み、創造し最後までやりとげる意欲・態度・心情を培います。
- ・自分の考えを素直に表現できるよう、豊かな感性を培います。
- ・思いやりと奉仕の心を培います。
- ・健康な体を培います。

<地域の環境を活かす保育の重点目標>

遊びを通して、幼児期に育てておかなければならない生理的機能と心理的機能の育成を図る。そのため知能の多重性に関わる多様な体験を、園内外の環境を利用して保育し、本物に触れる事により「生きる力の基礎」を培う。(①生き生きと楽しく! ②上手になるより好きになろう!)

評価の表示 A：十分達成されている B：達成されている
C：取り組んでいるが成果が十分でない D：取り組みが不十分である

1、わかくさの保育の5つの基本（生理的機能、心理的機能）

評 価 項 目		評価
①	年間・月・週・1日の保育計画が、文部科学省の定めた内容に即しているか	B
②	教育方針のもと、行事がバランス良く計画・実施されており、内容が子どもたちの成長に繋がっているか	A
③	教育方針のもと、おでかけがバランス良く計画・実施されており、子どもにとって魅力的なものになっているか	B
④	教育方針のもと、その他の活動(菜園、交流会、料理活動、保育参観等)が円滑に行われ、子どもや保護者にとって魅力的なものになっているか	B
<理由・備考欄> 1:・園の運営計画に沿って研鑽を深め努力している。 ・職員研修等を実施してカリキュラムを組み立て実施できている。 2:・コロナウイルスによる制限が緩和され、行事をコロナ前の形で開催することができた。保護者の方も、子どもたちの成長を大いに感じられる機会となっていたのではないかと感じる。 ・今年度はレク、フェスと小学校で行うことができ、子どもたちの成長にもつながったように感じた。大きな行事に向けて子供たちの気持ちのバランスを取りながら進めていけたのではないかと感じる。		B

- ・行事やおでかけを踏まえ、回数を重ねるごとに成長が見えていると感じる。子どもたちも前回覚えたことを次回に生かす姿も見られる。
- ・コロナが緩和されたことにより、制限なく行事を実施することができた。それによって子どもたちもより季節の行事を身近に感じるようになってきたように思える。
- ・様々な行事や活動を通して子供たちがのびのび活動している。又子供たちのありのままの活動を保護者に見てみてもらえる内容になっているように感じている。
- ・各行事等の目標と検証がきめ細かく行われていると思う。

3: ・おでかけや行事、日々の保育が子どもたちの負担にならずに行うことができているように感じる。園外活動や行事の回数も丁度良いと感じる。

- ・今年度年長児が冬に近隣の公園まで歩いて行ったことで、冬の交通ルールや、実際に雪道での危険な場所などを知る機会にもなり、良かった。
- ・お出かけでは、子供たちにとって効果的な場所が多く季節を感じながら活動している。又保護者にとってもお出かけに対する期待が大きいと思う。

4: ・活動内容を見直し、料理活動を行うことができていた。また、小学校交流会も各小学校2回ずつではあるが、実際に小学校に行き、1年生と関わる時間ができたことで就学に対する不安を持つ子が少なかったように感じる。今後も続けていけたらと考える

- ・小学校との交流会を多く持てたことは、園児にとって大きな良い影響を与えることが出来た。また、フォーシーズン入所の方々とも初めて交流を持つことが出来、近隣の方々との関わりを多く持てたことが大変ありがたい。
- ・基本的に達成されているように感じる。
- ・④に関しては、園の今の環境の中でできるだけ工夫して行っている。保育参観や懇談会については、職員としてはより良いものになるよう工夫はしているが、保護者の考えを聞く機会が少なかったため、率直な意見を聞き取り入れられたら職員、保護者の方にとってよりよいものになっていく。
- ・子供たちにとって菜園活動での野菜の収穫は、とても貴重な体験で幼稚園の魅力になっている。
- ・コロナの緩和によって交流会ができるようになり、小学校や近隣の介護施設との交流が増え、子どもたちにもよい刺激になったように思えた。
- ・芋ほりや大根抜き等では子供たちにとっても貴重な自然体験になっており保護者からも喜びの声がある。
- ・今年度はコロナウイルスの緩和もあり、おでかけがたくさん行けた印象がある。また、料理活動や参観等以前の活動に戻り、子どもたちも楽しんでいる様子があった。

<p><外部評価 ご意見></p> <p>②コロナが明け、より多くの行事に家族で参加でき子どもの成長を共感でき良かった。</p> <p>③おでかけが多いのはわかくさの魅力である。様々な公園にいき、季節を感じることができている。</p>	
---	--

2、健康面、安全面、衛生面について

評 価 項 目		評価
①	事故や災害、防犯に備えた危機管理マニュアルが作成され、職員の理解のもと活用されているか	B
②	法定の学校安全計画や防災計画などの作成・実施がされているか	B
③	園内外の安全点検や整備が、定期的・日常的に行われているか	B
④	幼稚園バスの事故防止についてのマニュアルが守られ、安全に運行されているか	C
⑤	園内の施設・遊具・図書が有効に活用され、また、衛生面においても整備されているか	B
<p><理由・備考欄></p> <p>1:一人ひとりの園児に不安のないよう配慮し、努力している。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・バス内の置き去りがなく、目視での確認に加え、機械も取り付けただけでより安全にバス運行することに繋がった。 ・火災、地震に加えて、不審者訓練、洪水浸水訓練と訓練が充実され、子どもたちだけでなく職員の危険意識も高まった。 ・アラート、不審者対策等、最新情報をしっかりマニュアルに反映することが出来た。その一方で、マニュアルの内容が多くなり、様々な対応が求められるようになったため、職員の理解を深めることにも今後は力を入れていきたい。 ・防災マニュアルや危機管理マニュアルは改正や世間で事故、事件があるたびに変更や更新を重ねている。今年度は不審者対策を新たに取り入れ行ったが、今後どのように子どもたちに浸透させていくかが課題であると感じている。 ・避難訓練や職員研修を通して、災害や事故時の対応の理解に繋がっていると感じる。今後も研修等で様々な状況を考えながら、職員の連携や対応を徹底していく必要がある。 ・職員が研修の中で不審者への対応や対策を座学と実技で学び、それを踏まえて子どもたちもDVDで見るだけでなく不審者からの避難を実際に行えたのは良かったと感じた。 ・園全体の問題でもあり事故や災害・防災・不審者対応等に関しては、日々訓練がなされている中でお互いマニュアルに従ってお互いに話し合うことが大切である。 ・定期的な訓練の基盤としてマニュアルが活用されている。 		<h1>B</h1>

- 1,2: ・年々意識し、改善していつているため、よりよい形となっている。今年度は研修に取り入れることで、職員での共有がしっかりできた。
不安点なども警察の方に確認するなどできよかった。
- 2: ・防火管理者による防災計画が作成・実施されている。
- ・避難訓練等が定期的に行われ園児が訓練に真剣に取り組んでいる。
 - ・各訓練を通じた子供たちの成長は著しいと史料。
- 3: ・破損したものがあつた際は、見つけた職員が迅速に修理、処分することができており、子どもたちが過ごしやすい環境作りができていたように思う。
- ・マニュアル以外の清掃箇所の園内の安全点検が日常的に行われてないところがあるように思う。今後は、自身の中でもっと意識していき、定期的に部屋の危険と感じたところの改善や修繕に努めていきたい。
 - ・防火管理者の自主点検により点検を実施している。
 - ・園内外の破損箇所等をそのままにせず、保育者も点検や危険箇所の把握ができ対処できている。
- 4: ・園バスの子どもの車内置き去り対策として防犯ブザーが取り付けられたため、対策はしっかりとされていると感じている。
- ・バスGPSを導入したため、バス利用の家庭には多く活用していただきたい。
→GPSを導入したばかりなため、今後保護者の方にも浸透していく。
 - ・冬道での運行は道路状況も悪く、遅れを要しやすいため保育者は時間を意識し、スムーズに子どもの乗り降りを行っていく必要がある。また、冬道は揺れが大きく、危険も伴うため子どもたちの怪我に繋がらないよう意識していく。
 - ・GPS機能を取り入れたことで、保護者の方も待機しやすくなったのではないか。
 - ・事故防止のマニュアルなどをバス内に置き、すぐに確認できるようになった。子ども置き去りにならないよう、装置が取り入れられたり、運転手だけでなく職員も確認をすること(二重確認)を再度職員で決め、置き去り事故防止に努めることができた。
 - ・運転手、添乗する保育者が連携して安全運行が守られている。
 - ・ドコマップを導入したことにより、バスの現在地がわかるようになり便利になったと感じる。一方で、バスルートが急遽変更すると混乱を招くため毎日同じルートでの運行を行うか、変更になる場合には保護者に連絡をする等工夫が必要だと感じている。
 - ・バス内は日々、清掃、除菌をして衛生管理の徹底を図っている。
 - ・バス内での見落としや事故を防ぐために定期的に環境を改善(降車後の点検強化やエンジンプストップ後の音声案内の設置)していったことで、より安全に運行することができたように思える。
 - ・安全運転を心がけているが事故等が起きた際すぐに報告・連絡がマニュアルに基づきスムーズにできている。
子どもたちの安全を第一に、運転手と添乗者が共に協力して園児への安全指導を徹底し冬場は特に時間の余裕をもって行動する。
 - ・園バスの置き去り防止の対応やGPSなど、バス運行がスムーズになるもの、安全対策となるものを取り入れて保護者も活用しているイメージがある。

<p>5:・図書コーナーは子どもたちの大好きな場所となっている。絵本読み聞かせの回数も多く、子どもたちは絵本に触れる機会が多く、楽しみにしている様子だった。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・絵本サークルの保護者の方のおかげで絵本にたくさん触れ合うことができた。 ・保育後おままごとなどの消毒作業の頻度が少なく、今年度は特におままごとのものをなめている園児もいたため、頻度を増やしていく。保育室の消毒は必ず行っていたが、職員室などはあまり行えていなかった。 →消毒は行っていたが、もう少し頻度を増やしていきたい。おもちゃの量が多いため、消毒が行き届いていないためおもちゃの提供を半分ずつに分けるなどしていく。 ・園内の遊具や設備に古いものがあり安全点検をこまめに行う必要があると感じる。 →習慣化していく。 ・特に冬場の外遊びを充実させている。又バス内の消毒を定期的実施している。 	
<p><外部評価 ご意見></p> <p>① 安全面に対して、訓練を取り入れるなど迅速に対応していることがしっかり保護者にも伝わる。そのため、安心して幼稚園に子どもを預けることができる。</p> <p>④GPS が正確でないことがあり、GPS だけに頼ることは難しいかもしれない。GPS があると大きな遅れの際などでは活用できた。</p>	

3、組織運営について

評 価 項 目		評価
①	教育目標達成に向けて、園長を中心に組織のリーダーシップ、マネージメントシップ、メンバーズシップが機能しているか	B
②	共通の目標・理解のもと園を運営していくために、職員間で連携・協力体制ができているか	B
③	職務分掌が適切に機能し、保護者に情報(園だより等)が提供されているか	A
④	保護者から提供されている個人情報、適切に管理され、守秘義務が守られているか	A
⑤	毎日の朝礼、終会、運営委員会、職員会議が実施され、情報交流が行われているか	B
⑥	園の財務運営状況、勤務時間状況、サービス状況についての共通理解、各種法令が遵守されているか	B
<p><理由・備考欄></p> <p>1:・園児の情報を交流していくことでクラス、学年関係なくみんなで子どもを見ることができているように感じる。日常的に話しやすい環境づくりを職員全員で心掛けていく。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子供の成長や様子を職員同士で共有する機会が多くなった。園全体で子どもの成長を見守れており良いと思う。 		B

- ・行事の際などは、担当だけが負担を負うのではなく、職員全体で分担、協力できていた。
- ・園だよりだけではなく、今年度もホームページがこまめに更新され子どもの様子を見ることができ、保護者にとって嬉しいものになっていると思う。
- ・職員間の連携・協力の体制がより強くしっかり声掛けや挨拶等が出来ておりお互いを尊敬できるようになっている。
- ・各種問題解決のための前向きな話し合い、工夫、取り組みがなされていると思う。

2: 昨年度と比べ、それぞれの役割で園全体が動いているように感じた。今後も満足せず、役割について考えていきたい。

- ・無駄を省き、工夫を凝らし、職員間の連携もよくとられている。
- ・協力が必要な際に、職員間で連携を取れるよう話をする事ができていたように思う。
- ・職員間で協力し合い自分でできる限り行い、不足している部分は他の職員の協力を得ている。またバスへの連絡等様々な連絡事項漏れがあり、報告・連絡の徹底に心掛け注意する。
→メモする習慣を徹底していく。メモするものやペンを常に用意しておく。
バス送迎についての連絡は、朝7時半以降にバス携帯へお願いする。
- ・送りや迎え、保育の変更等、情報共有がされない時があり、バスの事故などの際には、他のバスまで情報や状況がしっかり伝わっていないこともあった。また、報連相が行き届いていなく、状況がわからないこともある。
→打ち合わせに出していないときは、打ち合わせノートで話し合った内容を確認していく。また、伝え忘れのないように心がけていく。

3: 園だよりなど情報でミスがあった際すぐに対応し、保護者に共有できた。

- ・月1の園だよりやカレンダーで保護者に行事日程や持ち物を伝えることができたが、周知できていない細かい部分などがあった。

4: 個人情報の物は、棚にしまい確認に回すなど徹底できていた。

5: 職員同士、園児の情報はもちろんコミュニケーションを多くとることが出来たと感じる。

- ・打ち合わせでこどもの様子を知ることができ、保育に活かされている。
- ・日々の会議の中で情報共有は行われていた。以前の会議と比べると、話し合いが少ないように感じた。
- ・職員間で連携・協力体制ができていると感じている。今後も、より一層職員間の情報共有が大切になってくると思う。
- ・朝礼、終会では毎日子どもの様子や細かな連絡事項を共有することができていると感じる。また終会、職員会議は議事録を取っているため情報共有がされやすい環境が整っていると感じる。
- ・毎日の打ち合わせなど子供の成長等職員間で情報共有が出来ている。

<p>6:・働きやすくなるよう改善されていっている。 →勤務時間外の手当てがしっかりしていた。年々働きやすく改善しているため、ありがたい。 今後も国の制度に沿ってよりよくなるよう努めていく。</p>	
<p><外部評価 ご意見> ①園全体で子どもを見ていて、担任以外の保育者からも子どもの様子を教えてもらうことがあった。安心して子どもを預けることができた。</p>	

4、保護者・地域とのかかわり

評 価 項 目		評価
①	保護者と信頼関係を築き、幼稚園運営への理解及び協力を得られているか	A
②	地域の自然や文化財、施設等を有効活用できているか	B
③	地域の小学校や保育所と連携をとっているか	B
④	地域に向けて、園の情報を発信・提供でき、関わりを持つことができているか	C
<p><理由・備考欄></p> <p>1:・大きなトラブルもなく、保護者との信頼は厚い。地域への発信はもう少し考えていく余地がある。 ・PTA 活動が盛んであり、保護者との交流や意見交流などが日常的に行われていた。 ・クラスや学年問わず、幅広く保護者と関わることができ、信頼関係を築くことができていたのではないかな。 ・なにか問題が生じた際も、保護者からご意見をいただき迅速に対応できていると感じる。</p> <p>2:・南区で自然が多い地域にいるため、もっと活用していけたらよいと感じる反面、クマなどが例年は怖く行動できていない部分もある。 ・おでかけを通じて、公園などの地域の自然や文化財を有効活用できているように感じる。</p> <p>3:・学校との交流会を行うことで、年長児が就学に対して期待を持つことに繋がっている。 ・コロナが5類に移行したことで小学校との交流が可能になり、連携がしやすくなった。来年度もかかわりを持てるように体制を整えていきたい。 ・コロナ明けようやく小学校と直接会って交流会ができた。コロナ以前と比べると交流の頻度が少なくなっているため、交流する小学校をその時の卒園児で就学する人数が多い学校に交流の依頼をして、交流の機会を増やすなど検討してもよいのではないかな。 ・小学校との交流で5年生と年長さんの交流を行っている園があるとのこと。(中堅研修にて情報をいただいた。)小1で入学した際に、顔見知りの6年生がいると安心感が持てるとのことだったので、今後、交流の機会を相談してみてもよいかなと考える。 ・小学校とは就学や行事において、連絡を密にしながらかかわっていったように思える。</p>		B

<ul style="list-style-type: none"> ・保護者、地域の小学校・保育所との連携は取れていると思う。 ・近所の幼小の職員で研修会を行うのも良い機会になると感じる。 <p>4: 今年度は老人施設との交流も行えて、とても良い経験となった。幼稚園でどのような活動をしているかを知ってもらえる良い機会となった。今後も続けていきたい。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今年度はホームページのリニューアルを考えていたが思うように進まなかった。園の情報をしっかりと発信できるように進めていく。 ・入園募集のポスターの掲示をお願いしている。地域という面では、情報の共有は少ないと感じる。地域とかかわりを増やしていきたい。 ・今年度は、コロナウィルスの制限も緩和され、小学校との交流や、老人介護施設との交流を実現でき良かったと感じる。地域との交流にも繋がり、子どもたちのいい経験になった。今後も交流の場を設けていけたらと思う。 ・今年度はコロナウィルスなども落ち着き、小学校や介護施設との交流会をすることで地域とのかかわりが増えたように感じる。来年度以降も継続して交流できると良いと感じる。 	
<p><外部評価 ご意見></p> <ul style="list-style-type: none"> ①PTA 役員と幼稚園で協力して取り組むことができた。 ③その都度小学校のカリキュラムを見直していき、子どもたちにとってより良い交流活動となるよう検討していきたい。 ④まちづくりセンターでも幼稚園との交流を考えていきたい。 	

5、子育て支援・預かり保育について

評 価 項 目		評価
①	他の専門機関と連携を取り、地域に密着した体制をとっているか	B
②	預かり保育に関して、保護者の実情や要望に応じて対応できているか	B
③	未就園児教室が教育方針のもと、計画・実施され、入園前の保護者と子どもが交流できる場になっているか	B
<p><理由・備考欄></p> <p>1: 園を理解するための PR 方法について考えていくことが必要。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・保護者のニーズに合わせて預かり保育を行うことができていたと思う。 ・様々な機関との連携はあるが、関わり自体は少ないため、しっかりと交流をして、情報交換ができればよいと思う。 ・他の専門機関と連携をとる回数が少なく感じる。(例えばデイサービスなどでの内容など疑問に感じたことなどを質問し園でも生かしていく) →デイサービスなどの施設の考え方、園の考え方を互いに知っていく必要がある。来年度以降、職員同士の関わりを作っていく。 ・他の専門機関との連携は薄いと感じるから。家庭での問題があったときに、必要な機関とすぐ情報を共有するには、密な連携が必要なのではと感じた。 		B

<p>・近隣の小学校、複数校との交流会を数回設けていることで地域とのかかわりを増やしたり、小学校との連携を取ったりすることができていると感じる。</p> <p>2: ・先生方の預かり時間記録等ご協力いただき感謝している。</p> <p>3: ・今年度は参加人数が少なかったものの、ゆったりじっくりと各御家庭同士交流することができたのではないかと感じる。</p> <p>・「コロナ発生当初に生まれた子どもたち」ということが影響してか、未就園児教室に参加される家庭が少なかった。チラシ配りや保護者の方にも協力いただき、幼稚園の情報発信を行ってきたが、厳しい状況が続いた。</p> <p>・今年度はうさぎ組の人数が少なくアットホームな雰囲気で行えた。保護者の良い交流の場所になっていたように感じる。入園希望者が少ないため、良いPR方法を考えていく必要がある。</p> <p>・参加人数が少ない中でも、例年と変化なく取り組むことができていた。</p> <p>・今年度参加人数は少なかったが、その分保護者や子どもたちと密に関わっていくことができたように思う。また、準備保育でも保護者同士が会話をしている様子を見るのが、例年より多かったように感じた。</p> <p>・未就園児教室では、人数が少ないこともあるのかもしれないが保護者同士が会話や仲を深めていた印象がある。また、園としても子ども一人一人と関わることができたように感じる。</p>	
<p><外部評価 ご意見></p> <p>② 急な預かりの時間変更も応じていただけたため助かっている。</p> <p>他の園で預かりについて悩んでいる方もいたため、わかきさは保護者の気持ちを理解してもらえるためありがたい。</p> <p>③ 今年度は未就園児教室への参加人数が少なかった。</p> <p>来年度よりは給食を導入するため、入園児童増加につなげていきたい。</p>	

6、園内評価の具体的な目標や計画の総合的な評価結果、今後の課題

総合評価	総合的な評価項目
<p>B</p>	<p>・大旨よく為されているが、少子化対策について一層の努力が必要。</p> <p>・今年度おおきな事故や怪我がなく、過ごすことができたのは職員間の連携や日々の意見、情報交流があつてこそだと思ふ。引き続き、子どもたちが園生活を安全に、楽しく過ごせるように職員で協力していきたい。</p> <p>・コロナが5類に移行し、少しずつコロナ前の活動に戻しながら進められたことが何より良かった。</p> <p>・夏は異常な暑さにより一部の活動が多少制限されることがあつたが、子どもの安全を第一に考え職員みんなで協力体制を整えることが出来た。</p> <p>・子どもや保護者の気持ちに寄り添えるよう、職員みんなで心掛けてこられたように感じる。</p>

- ・入園希望者が少なく、来年以降の園のPR方法に課題が残る。
- ・おおむね達成されていることが多い。さらによりよい幼稚園となるために引き続き現状に満足せず、職員一同協力し取り組んでいく必要がある。
- ・全体的に達成していると感じる。引き続き、達成されている項目を保てるよう意識していきたい。
- ・保育内容については日々の保育や行事を子どもたちの成長につながるよう計画されていると感じる。
- ・送迎バスの安全運行と利便性の向上のため DoCoMAP「園バス GPS」が導入され、保護者の皆様の待ち時間の短縮に活用された。また操縦手の精神的な負担軽減にもつながり、安全運行に反映されている。
- ・園全体の意識が良い方向に変わってきている。
- ・職員がコミュニケーションを取り、互いに認め雰囲気を感じられる。
- ・コロナが緩和したことで、以前のように行事を行うことができ子どもたちが楽しそうに参加していたのはよかった。来年度は感染症による休園などが無いよう、自分自身も子どもたちにも体調管理を徹底していきたい。
- ・より良い幼稚園になるための伸びしろは無限にあり、また、そのプロセスもそれぞれの成長に繋がると思料。
- ・コロナウイルスも落ち着き行事や交流会が行うことができたように感じた。保育者間での連携不足があるところもあったが、概ね全体で連携、協力しながら園の運営をすることができたように感じる。

<今後の具体的な課題と改善策>

- ・わかくさの子育て教育の良さを訴えることを多面的に考えていくこと。
- ・環境をより魅力のあるものにすることが今後、園児獲得の鍵となるような気がする。
- ・新入園児が少ないため、園の良さをアピールしていきたい。そのための具体的な策を職員間で相談し合っていく。
- ・職員間で話しやすい環境が作られているが、より良い職場環境になるよう普段から積極的に職員が交流できる機会を作っていけたら良い。
- ・今年度と変わらず、職員一同協力して園児を第一に考えた活動を目指していきたい。
- ・給食導入など新たな試みもあるため、一つ一つのことに丁寧に取り組んでいきたい。
- ・園児確保のため、次年度から給食の導入をする。良いPRとなると思うので、地域の方や園外の方に多くわかくさの良さを広げられるよう、PR方法などを模索していく必要がある。
- ・保育の質を向上し、子どもも保護者も安心できるように心掛けていく。
- ・保護者との関わりが少ないわけではないが、担任の職員は実際の声をきく機会が意外と少ない。慰労会や謝恩会のときに率直な意見をいただくことが多くあった。交流の機会を増やしていく努力と、懇談会などの内容検討、話しやすい空気間の作り方など工夫が必要だと感じた。
- ・衛生面で消毒作業を職員が使用するところも行い、職員の健康面のことも配慮していく。おままごとなどの消毒作業を増やしていく。
- ・他の専門機関とのかかわりを深めていく。園の職員ではわからないことも専門機関の方と話すことで学びが多くあると感じる。
- ・不審者対応を経験し、災害や事故時に的確な対応ができるか不安に感じることがあった。職員間で意見交換をしながら対応の徹底を行っておくと、子どもたちだけでなく、職員全体の身を守ることに繋がるため、今後も研修等で職員間の共有が必要だと感じる。地域の関わりについては、保護者の子育ての問題等を解決するため

に必要な情報を得ることができる専門機関との連携は薄いと感じた。また、デイサービスとの連携などももっと意識し、自身でも情報収集をしていきたいと思う。

- ・園の設備や衛生面については今後も点検や清掃をこまめに続け、必要に応じて修理、修繕を行う必要があると感じる。
- ・園バスのGPSの活用についてはより活用できるよう工夫していくことができると感じている。
- ・送迎バスの到着時刻の把握のためにGPSを活用したDoCoMAP「園バスGPS」が導入され、保護者の皆様がバスの運行状況を把握することが容易になった一方でアプリケーションの使用要領や使用方法に関して一部で認識、徹底が図られていないため、継続的にアプリケーションの使用方法的サポートをして実施し、より快適で保護者の皆様の負担軽減になるようにしていくことが必要だと感じました。
- ・コロナが治まってきたことで、行事も前の形に戻ってきている。前の形を知らない保育者もいるため、分かる職員から話を聞き、前年度に担当した職員からしっかり内容を引き継いでいくなどすることがより大切になってくるように思える。
- ・不審者対応など、緊急時における対策を今年度はより密に行っていた。今後も可能であれば年1回程度行うなどしていき、子どもたちも通常の避難訓練のように、“どう動いたらいいのか”が分かるようにしていくことが大事のように感じる。
- ・安全管理等については、完璧ということはないので点検や整備職員の危険予測など意識を高めていく。
- ・細かいことでも保育者間での報連相もしっかりしていけるとさらに園としての運営や評価にもつながるように感じている。また、全職員が情報共有していないこともあるため、打ち合わせ等でしっかり共有していけたらミスなく保護者や外部との関係も深めていけると感じている。

<外部評価 ご意見>

- ・今年度、猛暑だったため子どもたちが心配になった。園では、来年度エアコンの導入を考えていく。各小学校は3年かけて順番に行っていく。現在南小学校では、エアコンが導入されている教室があるため、エアコンのある教室を利用しながら子どもの健康管理に努めている。
- ・マスク生活が続き、マスク着用が解除されてからウイルスへの抗体が弱まってきているように感じる。来年度は体調管理に努め、休園にならないよう努めていく。
- ・ウォーターガーデン(外部)に行く際に、パンツ・シャツというのは、時代的に周囲の目が気になっていた。今後、改善していく。
- ・その年直してほしいと思ったことも、すぐに次の年には改善されていた。
- ・保育者の雰囲気がとても良い。保育者の雰囲気が園の雰囲気に繋がっている。
- ・モンテッソーリ教育を取り入れているため、子どもだけではなく保護者も参加して学べる機会があるとよりよかった。
- ・おでかけが卒園した今でも子どもの中に思い出として残っている。これから園選びをする方たちにおでかけのたくさんある魅力をどうにか伝えていきたい。
- ・安全管理に関して、しっかり対応していて保護者からの評価もあり良いと感じた。
- ・外部評価があることで、率直な意見を聞くことができ良い機会となっている。
- ・保護者の方との信頼関係がしっかりできていると本日参加して改めて感じた。園長が大切にしてきた教育方針を、職員も理解していることにより、その思いや雰囲気が保護者にも伝わっていることが素晴らしい。